

ご挨拶



文学部イスパニア文学科
1973年卒
サピエンチア会
会長 藤本 滝三

深秋の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます

平素は同窓会活動に格別のご厚誼にあずかり、ありがたく厚くお礼申し上げます。

今回この25号の会報を発行するにあたり前号の24号を読み返しますと全く真逆の内容となっています。皆さんもご存知の通り昨年のホームカミングデイの折、大井学長のご挨拶の中には 看護学部の申請をし、2015年春には新入生の募集を行います。と、まだまだ夢と希望を語っておられました。しかし今回この25号の会報を発行する段には、既に大井学長は大学を去られ、新学部の設立は夢破れ、このままでは来年の3月以降には閉校への段階と進んでいきます。

次ページの「わが母校における激動のこの7年間」を見ていただきますと、この7年間でローリエットは本学で「何をしたかったのか？」全く脈絡が見えて来ません。

日本の複雑な文科省の申請業務を甘く考え、理解すら示そうともしませんでした。「教育界に黒船来襲」とまで新聞、雑誌に騒がれ、教育界に介入して来た割には余りにもお粗末な結末ではないでしょうか!? 一番の犠牲者は募集停止後の学生達と教職員の方々を含む我々10000名の卒業生です。

私は、ここ数年間の会報、卒業式の祝辞そして創立50周年記念誌までも、ローリエットは大学の教職員、同窓会と3者が一枚岩に成らないとこの難局は乗り切れないと言いつけて来ましたが、結局は最後まで岩は一枚に成ることは有りませんでした。全く口惜しく 残念で仕方有りません。

我々同窓会役員はこの聖トマス大学「旧英知大学」が校舎・グラウンドを切り売りされ、満身創痍のボロボロになって廃校に

なり、何も残らない・・・そんな事態が起こらないようにこの4月以降毎週の様面に会合を重ねてまいりました。校舎・グラウンドを残す方法には沢山の選択肢が有るわけでは有りません。学校法人英知学院と言う名前は無くなりますが万が一、校舎・グラウンドが残った場合にはすぐにも対処が出来るように、母校におられた先生方にも同窓会の特別会員になって頂き(先生方とともに今後、力を合わせて同窓会運営をしてゆくために役員会において承認致しました)いつでも誰とでもタッグが組めるように 同窓会組織とは別に役員個人の出資で(一般社団法人)英知学院後援会なる組織を設立致しました。同窓会だけの組織では力が弱い、影響力も小さい、悲痛な我々の声を表に知らしめてゆく。これ以上母校に傷を付けたくない。全卒業生、全教職員、そして地域の住民の方々の方々の言葉を代弁する組織として立ち上げました。

又、校舎とグラウンドが残ったとしてそれをどうやって維持・管理・運営してゆくのか・・・未来に向けた問題は山積みです。それらの問題一つ一つを実践してゆく為の組織でもございます。

今までの様に未来を他人に任せるのではなく、我々卒業生で未来を作ってゆく覚悟でございます。これからも、皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

今年も11月3日(月・祝)に恒例のホームカミングデイを開催させていただきます。そこではもう少し詳しいお話が出来るのではと思っています。

今年は英知学院聖トマス大学という名の元で開催する最後のホームカミングデイになると思います。会報の送付も資金枯渇の為今回が最後になるかもしれません。皆様のご来校を心よりお待ちしております。

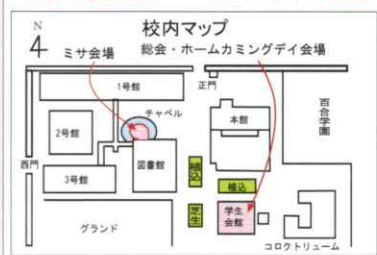
チャペルに於きましても、本学最後の卒業生である多文化共生学科の「王凱倫君」がこの8月17日に亡くなられました。彼を初めとし古くは西文科のアルパレス先生、コラル先生、神学科・英文科・仏文科全ての教職員の方々、全卒業生の物故者の方々のご冥福を皆様と共に祈りをしたいと思います。

2014年11月3日(月・祝) スケジュール

10:00~11:00	卒業生・教職員物故者追悼ミサ	チャペル
11:15~13:00	同窓会総会	学生会館2F
13:30~17:00	ホームカミングデイ	学生会館1F

- * 会費は特に設定をしていません、当日会場にてご寄付をお願い致します。(活動資金不足の為、活動費に充当をさせていただきます。)
- * 今回、駐車場はございません、懐かしい川沿いの道を徒歩にてお越し下さい。

11月3日(月・祝)ホームカミングデー開催



“When to the sessions of sweet silent thought”

聖トマス大学 名誉教授 井田規文

誘われるがままに静かに想いを馳せると、我が心の奥深くから過ぎ去りしことがあれこれ思い出されて、かつて求めたものがいくつも見当たらず、溜息が出るばかり、しかもかつての苦悩が新たに蘇り、過ぎてきた時の空しさがわが身を悲しませる。

シェイクスピアの『ソネット』30番(第一連)を、ふと口ずさむことがあります。ドラマティック・アイロニーとは呼びたくありませんが、今年3月末をもって聖トマス大学を退職した小生には、英知大学に勤め始めて間もない頃に遭ったこの30番が今更ながら口をついで出てくるのは、何とも皮肉です。よもや大学がこのような事態に陥るとは勤め始めた頃には思いもしなかったことです。英知大学が聖トマス大学となっても希望の光を何とか消さないように努めたつもりでしたが、力及ばないわが身の非力さを厭わざるを得ません。今の心境と言いますとおこがましいのですが、第二、第三連を変奏して、

かつて共に大学で親しく時を過ごした今は亡き諸先生方や卒業生たちが偲ばれ、滅多に流すことなどなかった涙が眼に滲み出てきて、今となっては遠く過ぎ去ってしまったあの頃の思いがこみ上げ、そして大学で出遭った多くの人たちに申し訳ない気持ちで自分の不甲斐なさに襲われる。

さらにまた、かつての楽しかったことを思い出すことに後ろめたさを覚え、以前涙とともに洗い流したはずの苦悩をあれもこれも思い出しては心痛み、まだその清算が済んではいないかのように、今更ながら清算しようとしている。

と、言うのが正直な気持ちです。ですが、希望は未だ失くしていません。同じく結句を変奏しますと、

――だがそれは、かつて大学でめぐり会った人たちを思い浮かべると、これまでの失ったものはすべて帳消しする以上に、新たな希望が満ちてくる。

聖トマス大学が今後どのようなことになるかは未定で予断を許しません。これ以上後悔という負債を抱え込むわけにはいきません。ですから、小生は7月から、英知学院同窓会の特別会員として、同窓会に加えていただき、同窓会の皆さんと一緒に今後の「新たな希望」に向かって、微力ではありますが、力を尽くす所存でいます。



邦楽英華(えいこう)会から

顧問 竹内 千代子

邦楽英華会は、琴のクラブです。英知大学のクラブ活動の中でも、最も早い時期に創設されたクラブの一つです。最盛期には、琴に尺八などを加えて、ピッコロシアターで定期演奏会を開いていました。しかし、私が顧問に就任した2000年には、休部状態で、楽器だけが残されていました。そこで、部員集めを開始。留学生を中心として、学園



祭や関西邦楽連盟の発表会に出演するところまで至りました。しかし、2009年、聖トマス大学の募集停止に従うかのように部員がいなくなり、再び休部になりました。

2014年、大学の廃校に向けて教員の解雇が進み、残された琴を管理することが難しくなりました。そこで、緊急避難的に現顧問である竹内の実家(広島県尾道市)に移そうと思えます。あくまでも、預かりであり、邦楽部再生の折にはお届けしたいという気持ちです。

みたび琴が学生の手によって奏でられることを願っています。旧英華会の皆様のご理解をお願いいたします。

たった一人の、そして最後の卒業式

2014年3月19日水曜日、午前11時より聖トマス大学で最後の卒業式が執り行われた。学士の学位を授与される者 陳吓娟(チン カクケン) 1名。たった一人の、そして聖トマス大学最後の卒業式。卒業生は一人であってもこれほど感動的な生涯忘れることのできない卒業式はかつてなかった。

2009年4月の最後の入学生の卒業式は、昨年3月に執り行われ、病気で休学をしていた3名の学生が2013年度9月卒業を目指して卒業研究等に取り組んでいた。2名は9月末に卒業することができたが、陳さんは卒業研究の大詰めを迎えた5月に、中国に残してきた最愛のお子さんを事故で亡くされ、卒業研究を仕上げることができず、9月末での卒業がかなわなかったのである。彼女の心の苦しみはいかばかりであったか。もう大学を続けることはできないという彼女に、われわれ教職員は力の無さを感じたものであった。しかし、中国のご家族とも相談をし、また、友達や先生方の支えもあり、除籍が確定する直前に研究継続の意志を示し、2014年3月末卒業を目指して、たった一人の学生としてその学業を全うすべく励んでいたものであった。

厳かな讚美歌が流れる中始まった最後の卒業式は、チャブレンによる聖書朗読、祈り、学長の式辞、学位記授与、同窓会長の祝辞、学科長からの送る言葉、学院歌斉唱と通常の卒業式と同じように進められた。聖トマス大学最後の、ことによるとこの地で行われる最後となるかもしれない卒業式。学院歌斉唱のときにはあちらこちらからすすり泣く声が聞こえてきた。

式後、ささやかではあるが、学生会館で卒業記念パーティーが行われ、昨年の3月に卒業した仲間たちも何人か駆けつけ、陳さんの卒業をお祝いしたのであった。

(教学部 岡崎臣博)



我が母校における激動のこの7年間の変遷

2007年4月に経営体制をより強固にするために聖トマス・アキナス大学国際協議会に加盟し、5月に大学名を「英知大学」から「聖トマス大学」に変更をし、なんとか難局を打破出来るかと思ったのも束の間2009年6月には人間文化共生学部の2010年度以降の学生募集停止を発表し、この2014年3月の新学部申請の取り下げまで何度、我々同窓生を失望させたことか！？ これ等の出来事を改めてここに分かりやすく整理をする意味で、時系列に追って見てみました。

2007年	4月	聖トマス・アキナス大学国際協議会(ICUSTA)に加盟
	5月	大学名称を「英知大学」から「聖トマス大学」へ変更
2009年	6月	文科省に学生募集停止を文科省に報告(保護者・学生・同窓会に説明会を開く)
2010年	4月	文学部神学科を廃止
	4月	日本グリーンケア研究所を上智大学に移管
	11月	ローリエイト・エデュケーション・アジア・リミテッドが法人を引き継ぎ、新理事が就任
2011年	3月	校地・校舎の変更・売却
	5月	国際教養学部及び健康科学部の設置認可を申請 聖トマス大学から日本国際大学に大学名称変更も併せて文科省に申請
	8月	日本国際大学の名でオープンキャンパスを開催
	8月	申請時の書類不備の為、設置許可の申請を取り下げる(2年間の申請不可)
2012年	3月	文学部(人間学科、英語英文学科、国際文化、言語学科)を廃止
2013年	1月	高校生対象にローリエイト英語step up(スカラシッププログラム)を実施
	3月	カトリック大阪大司教区の通達により、カトリックミッション校を取り下げる
	3月	人間文化共生学部の人間文化学科を廃止
	3月	聖トマス・アキナス大学国際協議会(ICUSTA)から脱会
	4月	一般市民対象の公開講座を開講
	5月	校地の変更・売却
	6月	ランゲージサポートセンター(LSC)開設
	11月	学校法人英知学院 聖トマス大学創立50周年記念式典を開催 「創立50周年記念誌」を発行
2014年	3月	大井学長辞職
	4月	新学部申請断念

※学校法人英知学院創立50周年記念誌の沿革を参照

思い出のキャンパスが・・・!!!

開発行為許可標識	
工事の期間	平成26年7月8日から 平成27年3月30日まで
工事の場所の 所在及び地番	尼崎市若王寺2丁目166番80、166番81
施行面積	5999平方メートル
工事の名称	(仮称)若王寺2丁目宅地造成工事
事業主の 住所及び氏名	明石市大久保町大屋497番地1 TEL 078-937-3338 関西住宅販売株式会社 代表取締役 横野 修三
工事施工者の 住所及び氏名	尼崎市南塚口町7丁目29-11 TEL 06-6426-8971 大日建設株式会社 代表取締役 山本 佳生
設計者氏名	株式会社 サブレッツ 工事現場 大山・大日JV



一回目の売却で、昔のテニスコート、寮(古くはシスター館、その後留学生寮)は住宅街になった。



並木もなくなり、寂しい通路。奥に体育館が見えます。

残り少ないグラウンドは、近隣の住民の方々へのゲートボール場等に利用していただいています。学生がいけないのでは…



二回目の売却で、グラウンドが半減！住宅街になります。



同窓生からのお便り

- 同窓会事務局の方々、ご苦勞様です。私は昨年30数年勤めております会社を定年となりました。今は引き続き同じ場所と同じ仕事をしております。茅ヶ崎から文京区本郷まで往復3時間越えは、堪えます故、そろそろ完全にアタイヤしたい気分です。トマス大の将来が気にかかります。皆様よろしく(1975年仏文科卒 Oさん(男性))
- 英知大学同窓会の益々のご活躍を祈念いたします。大学が廃校になっても同窓会は維持できるのでしょうか? フェニックス!! (1976年英文科卒 Hさん(男性))
- 2010年ブラジルサンパウロから(夫の赴任)戻り、現在地元市役所にて地域福祉就労支援員として日々頑張っております。学校の存続に関わる行政の不透明に忸怩たる思いですが、一人でも多くの学生が世界各地に巣立ってほしいと願っております。(1974年英文科卒 Hさん(女性))
- パソコン苦手なものにて、送付のお手間をおかけし、申し訳なく思っております。50周年当日は教会行事と重なり、出席できません。大学存続か廃止かいずれにせよ神様の(正)義の光が、英知大学に豊かに注がれますように・・・と願ってやみません。(2001年神学科卒 Mさん(女性))
- 孫と遊ぶことで忙しくしています。今年は西島君が亡くなりとても寂しいです。(1973年イスパニア文学科卒 Iさん(女性))
- 大学の情報を聞くたびに寂しさを感じていますが、神様があるべき方向に導いて下さることと祈りながら、執行部の活動を応援しています。老人関係の仕事をしていますので、仕事のない方がいらっしゃたら応援したいと思います。(1969年イスパニア文学科卒 Uさん(男性))
- 退職して早5年。趣味のカラオケとボランティアガイドに励みつつ、家族の超高齢化に伴い、家の仕事に追われる毎日です。(1970年イスパニア文学科卒 Nさん(女性))
- 大変な時期をお過ごしのことと思います。2015年度よりの再開講の祈りがかたいますように・・・(1968年神学科卒 Tさん(女性))
- 母校の再起を祈念しております。(1990年仏文科卒 Kさん(男性))
- いつもご連絡ありがとうございます。毎年11月3日は仕事にNGを出し、休みを取っておりましたが、今年は4日開催と言うことを聞き、残念です。仕事のために行けませんが、OBの仲間には声をかけ、1人でも多くのOBに行ってもらいます。私たちの学舎は今後どうなるのでしょうか?(1984年イスパニア文学科卒 Tさん(女性))
- 卒業後2、3年は参加していましたが、50周年と言うことで行ってみようと思いました。(2001年イスパニア文学科卒 Mさん(男性))
- 長年勤めた百合学院中学校を退職し、今は非常勤として週一回、小学校に勤めています。お隣の聖トマス大学の現状を悲しく思っています。これからどうなるのか心配しています。(1971年英文科卒 Yさん(女性))
- きびしい状況の中、事務局の皆様ご苦勞様でございます。例年英知祭のお便りを頂きますと郷愁をそそられます。(1974年神学科卒 Tさん(女性))
- 私が英知大学に入学して約40年が経とうとしています。今複雑な状況にある母校ですが、卒業生のためにご尽力下さっている同窓会役員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。心よりお礼申し上げます。お亡くなりになられました花野先生の授業は厳しく、時にはユーモラスで楽しかった当時をなつかしく思い出しております。
- (1978年英米文学科卒 Nさん(女性))
- 50周年記念式典開催につき今年もご尽力下さりありがとうございます。新しい現役の学生が入って、また学舎が賑やかに再開されることをお祈り申し上げます。お店(パブラウンジ・北新地)をして28年が過ぎました。皆様宜しく!(1978年仏文科卒 Nさん(女性))
- 今回の24号会報記事の中で学長より、1970年卒業生の同窓会に出席した旨を記していただき、うれしく思いました。(1970年西文科卒 Yさん(男性))
- 大学創立50周年おめでとうございます。懐かしい学び舎を度々思い出しております。当時、お世話になった花野先生のご冥福をお祈りしております。(1978年英文科卒 Sさん(女性))
- いつもお世話様です。2、3年前英知を卒業しました姪と英知を見て部室があるところが懐かしく、外人が多くギターを弾いていたりで少し感じが違っていました。でも大学が存続されることは私たちに帰るところができ、有難いです。何もできませんが、また行けるときに参加させて頂きたいです(1973年英文科卒 Iさん(女性))
- 何も変わらず、元気に過ごしています。今後、大学がどうなるか、少し心配です。(2005年仏語仏文科卒 Nさん(女性))
- 創立50周年おめでとうございます。早いもので私たちが卒業してから40年以上が経ちましたが、在学中の様々な光景を思い出しています。大学も大変苦境にあると聞いていますが、2015年には不屈のカムバックを心から願っています。長らく同窓会にも行けず、ご無沙汰しておりますが、いつか又懐かしい方々ともお会いできる日を楽しみにしております。同窓会の会長始め幹事の方々のご努力に感謝いたします。(1971年英文科卒 Mさん(女性))
- 40年ぶりぐらいになるかなー。友人との再会、大学を楽しみにしています。もう創立して半世紀になるんだなー(1971年イスパニア文学科卒 Tさん(男性))
- 現在他大学へ編入し4年生として在学。この10月より小学校の教育実習をしています。1年卒業が遅れることで自己負担も増えましたが、自分の思う道に希望を持ち進んでいこうと思っています。(人間発達学科 Fさん(男性))
- ご案内を有難うございました。良き日の訪れを待ち望みながら、愛と英知の霊の導きを願っております。(1974年神学科卒 Kさん(女性))
- 大学の存続を祈念いたします。私は社会福祉士として日々活動しています。(1999年英語英文科 Yさん(男性))
- 卒業後、千葉、東京と在勤しており、変わりなく過ごしております。大阪方向へ行く機会も少なく、なかなか同窓会へ参加できなく残念に思っております。(1978年西文科卒 Oさん(男性))
- 夫に先立たれて10年、2人の息子達はそれぞれ独立して家庭を持ち、孫も3人います。今は義母(90才)と愛犬の3人(?)暮らします。週2回のスイミングと合唱サークルで頑張っています。昨年還暦をむかえ、仲良しのお友達と大阪でミニ同窓会をしました。2015年大学の再生に期待し、いつまでも英知の名が刻まれることを祈っています。(1975年英文科卒 Kさん(女性))

《サピエンチア会へのご寄付のお願い》



平素は、サピエンチア会の活動にご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。さて、去年皆様から40万円を越えるご寄付をいただき、心より感謝申し上げます。お蔭様をもちまして、今年も「Sapientia」を皆様にお届けすることができました。そして、ホームカミングデーを今年も例年通り開催する運びとなりました。

大学は今年4月に来年度からの新学部開設の申請を断念し、それによって今後新しい同窓会員を迎えることはできなくなり、寂しい限りです。それでも同窓会としましては、大学が廃校になり、他の教育機関に移管されても、毎年ホームカミングデーを開催し、サピエンチア会の活動を継続していきたいと考えております。

けれども、そのための活動費は、皆様のご経済的支援に頼らざるを得ません。大変心苦しいことですが、同封の振込用紙にて、ご寄付いただきますようお願い申し上げます。

3,000円以上のご寄付を頂いた方には、お礼として50周年記念誌をお送りいたします。何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当日お越しになられて、3000円以上のご寄付をいただいた方には、50周年記念誌を手渡しさせていただきます。また、記念誌の発送は、勝手ながらホームカミングデー終了後とさせていただきます。お振込みの際には、振込用紙に卒業年度、学科、ご住所、お名前をご記入くださいますようお願い致します。

昨年の還暦同窓会・ホームカミングデーに出席して

1976年 英文学科卒 出口孝

人生まだ60年

大学祭「ホームカミングデー」には出来るだけ参加するようにしてきましたし、2013年は創立50周年記念式典もあるので、母校を訪れました。式典後の先輩の方々の「還暦同窓会」を拝見しながら、「楽しそうだ。来年は自分たちだ。出来るだけ集まって貰い、大学・同窓会の今後を少しでも考える機会にしよう。」との思いで、会場は、卒業生の「羅」君に関係ある「蓬莱」に決め、相当配慮頂きました。直接TxやFAXで出席確認を取りました。2014年当日、2時間前に直接会場に駆けつけて参加者を待ちました。英文科は、時々集まっていたので参加率は、それほど高くはありませんでしたが、西文・仏文の参加率は、卒業20周年以来なので高かったと思います。

松本神父をお招きして囲む中華料理の味は格別でしたし、卒業以来の方も多く、話は盛り上がり時の経つのを忘れました。参加者の中には、2015年の同窓会のために1年後輩のメンバーも何人か同席していて、「来年度もこんな形で開催する。」を確認しました。大学はどんなになるかも知れませんが「同窓会」は永遠であることを誓い、語り繋いでいきましょう。



還暦同窓会のお知らせ

— (1976年・昭和51年、1977年・昭和52年卒業の方々へ) —

初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。さてこの度、昨年に続きまして、今年も下記内容で同窓会を開催いたします。2期合同で、昨年にも増して多数の同窓生が集まる楽しい企画満載の会にしたいと考えております。ご多忙中とは存じますが、多くの方々の出席をお待ちしております。

神学科・英文学科・イスパニア文学科・フランス文学科の皆さま、11月1日は、梅田・グランド白楽天にお集まりいただき、タイムトラベルしましょう！！

1978年卒業の方も来年のために見学参加可能です。

記

◆日時：2014年11月1日(土) 12:00～15:00
◆場所：グランド白楽天 大阪市北区角田町8-47
(阪急グランドビル27階)
阪急百貨店うめだ本店 東隣(三井住友銀行の入っているビル)
(電話) 06-6315-8383

◆会費：6,000円(税込)
尚、すでに出席のお返事をいただいている方は、当日会場へお越しください。

この会報でお知りになった方は下記参加受付担当者まで、電話番号へショートメッセージ、Eメール、またはお電話をください。できましたら10月11日(土)までに。

最終は10月18日(土)です。
クラス、クラブ、同好会の仲間にも、参加の声掛けをお願いいたします。

*****実行委員(連絡窓口)*****

英文学科卒 長尾吉訓 : 実行委員長
(090-3717-8341) technofront@ezweb.ne.jp
英文学科卒 出口孝
(090-8750-3565) gorilla009@docomo.ne.jp
フランス文学科 泉啓太
(090-3860-4027) omonawa@softbank.ne.jp
英文学科 村島裕男
(080-3116-6261) mouton527@hotmail.com
英文学科 玉腰圭子(永谷)
英文学科 今村知里(前田)

以上

※P.S. 11月3日(月)文化の日は、母校で『ホームカミングデー』が開催されます。ぜひ、このパーティーにもご参加ください。詳しい情報は、サピエンチア会(同窓会)ホームページ(<http://www.sapientiakai.com/>)をご覧ください。



昨年の50周年記念式典・総会・ホームカミングデイ

昨年は、追悼ミサ、50周年記念式典・パーティー、同窓会総会・茶話会と多彩な催しがありました。今年も？ 来年は？



<重要なお知らせ>

1. 総会の出席と委任状送付についてのお願い
今回の総会では、重要な決議をお願いすることになっています。万障繰合せの上、是非ご出席ください。ご欠席の場合は、必ず委任状をお送りください。できますなら、同封の委任状の裏面にご意見、ご要望、連絡事項等を奇譚なくお寄せいただくと幸いです。
2. ホームカミングデー出席連絡のお願い
準備のため、出席される方はお手数ですが、メールにてお知らせいただくと助かります。当日の飛び入り参加も歓迎しますが、できるだけご連絡いただきますようご協力をお願いいたします。
連絡先メールアドレス：jimukyoku@sapientiakai.com



3. 会報「SAPIENTIA」の発送について
会報を皆様にお届けするには、約70万円近く必要です。大学からの援助がなくなると、会報を皆様全員にお届けすることが不可能になります。そのため、以前よりお願いしています通り、2015年度より会報はホームページに掲載することを基本とさせていただきます。会報の個別送付は委任状をご返送いただいた方、寄付をお寄せいただいた方、ホームカミングデー当日に参加された方に限らせていただきます。会報の送付をご希望の方は、委任状へのご記入、ホームカミングデー当日に受付でお申し出ください。何卒、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。



サピエンチア会ホームページ

<http://www.sapientiakai.com/>
<http://facebook.com/sapientiakai>

<編集後記>

この夏は日本各地で今までに経験したことのない大雨による大きな災害が発生いたしました。皆さまの地域は大丈夫でしたでしょうか？

さて、今年も何とかこの「SAPIENTIA」を皆さまにお届けすることができ、ほっとしています。今回で第25号です。これまでとは趣を大きく変えて、先生方にも原稿を依頼しました。先生方は急な依頼にも関わらず、快く原稿をお寄せいただきました。先生方の対応の速さに編集人として驚きとともに感謝申し上げます。さらに、皆様から頂きました「近況報告」を出来る限り掲載しました。読後のご感想はいかがでしょうか。懐かしい学生時代を思い出して頂ければ幸いです。紙面の関係上、お送り頂きました皆様全員のご報告を掲載できなかったことをお許し下さい。それでは、11月3日(月)のホームカミングデーで皆さまにお会いできますことを楽しみにしています。末筆ながら、皆さまのご健康とご多幸をお祈りしています。